



▲派遣職員での避難所受付業務を支援



能登半島地震に関する話題

松島町消防団は、令和6年能登半島地震によって被害を受けた消防関係者への支援の一助として、4月10日に団員から募った義援金244,000円を送りました。

内海邦宏団長は「東日本大震災時に沢山の方々から支えて頂いたことは忘れない。微力だが、次は我々が被災した消防団を支えることが出来たらと思う。」と、義援金に込めた思いを話しました。

松島町消防団から石川県消防協会に義援金を送りました

令和6年能登半島地震で甚大な被害を受けた石川県能登町への職員派遣

松島町では1月の職員派遣に引き続き、「被災家屋調査受付業務」を支援するため3月14日から21日までの日程で職員2名を派遣しました。

甚大な被害のあった能登町では、6,000棟以上の住家被害があり、被災家屋調査業務は当分の間継続される予定です。

今後も石川県能登町からのニーズに対する情報収集を行い、早期復旧・復興に向けて支援してまいります。

令和6年能登半島地震で甚大な被害を受けた石川県能登町への職員派遣



令和6年3月15日、特定非営利活動法人環境生態工学研究所と本町において、地域社会の発展と人材育成及び学術の振興に寄与することを目的とした包括連携協定を締結しました。

環境生態工学研究所（EITEC）は、環境保全のための学術調査、技術指導、環境教育などに関する事業を行い、国際環境および地球環境保全の推進を通して社会に貢献する特定非営利活動法人です。

本町とは2018年から「松島湾藻場

特定非営利活動法人環境生態工学研究所と包括連携協定を締結しました



▲環境生態工学研究所 西村理事長（左）

再生事業」を実施しており、地元漁業者、高等学校などと連携し、湾の環境改善に取り組んでまいりました。

今回の協定締結により、今後更なる相互連携・協力を図り、豊かな松島湾を未来へ継承するための取組みを実施していきます。

絵本コーナー充実

勤労青少年ホーム図書室の絵本などが新しく増え書架に並びはじめました。

町内在住の方から「幼児教育に役立ててください」とご寄附を受けて購入した図書は、絵本や児童書、大型絵本や紙しばいのほか、ジュニア小説や学習まんがなど多岐にわたります。読み聞かせを親子で楽しんだり、小さいころから創造力や知識を養う読書の習慣を育むのにお役立てください。

開館時間 火・金曜日 午前10時～午後6時
土日祝日 午前10時～午後4時
休館日 毎週月曜日（祝日の場合、翌日）
勤労青少年ホーム ☎354・4036

**新しい一歩
大きな一歩**

4月9日に町内各幼稚園・小中学校で入園式や入学式が行われました。新入園児、児童、生徒は、緊張した面持ちの中にも新しい生活への期待に胸を膨らませながら式に参加していました。

